

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 08152961 A

(43) Date of publication of application: 11 . 06 . 96

(51) Int. Cl

G06F 3/033

(21) Application number: 06296787

(71) Applicant: FUJITSU LTD

(22) Date of filing: 30 . 11 . 94

(72) Inventor: YAGI MASUO

(54) POINTING DEVICE

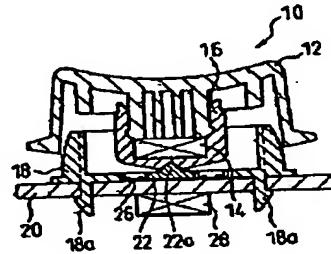
hole sensors 26 inbetween.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

PURPOSE: To easily and surely hold a mobile object by integrating this device into a key input device by composing it of a key top, the mobile object provided with a magnet for detection, a supporting member equipped with a spherical supporting part, a magnetic detecting means, and a fixed magnet.

CONSTITUTION: The pointing device 10 is provided with a key top 12 and a magnet 14 for detection, and the respective members are integrally fitted to a holder 16 and become an integral mobile object. Besides, a supporting member 22 equipped with a spherical supporting part 22a is fitted onto a printed circuit board 20. In this case, a recessed part corresponding to the holder 16 is engaged to the spherical supporting part 22a, and the mobile object can be turned with the spherical supporting part 22a as the center. As the magnetic detecting means for detecting the magnetic force of the magnet 14 for detection, hole sensors 26 are arranged around the supporting member 22 inside a housing 18 and fitted onto the printed circuit board 20. Further, a fixed magnet 28 is fixed at a position aligned with the spherical supporting part 22a on the opposite side of the magnet 14 for detection with the



(51)Int.Cl.*

G 06 F 3/033

識別記号

庁内整理番号

F 1

技術表示箇所

330 A 7208-5E

審査請求 未請求 請求項の数6 O.L (全4頁)

(21)出願番号

特願平6-296787

(22)出願日

平成6年(1994)11月30日

(71)出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72)発明者

八木 益男

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(74)代理人 弁理士 石田 敬 (外3名)

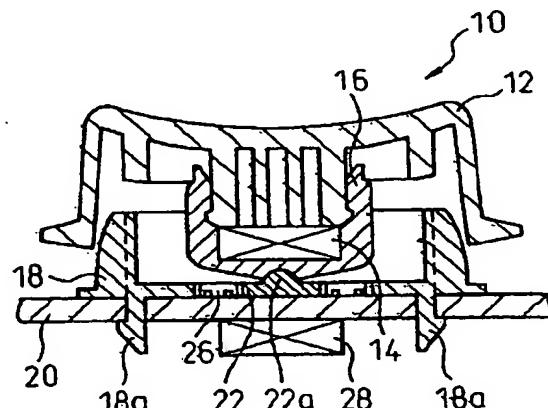
(54)【発明の名称】 ポイントティングデバイス

(57)【要約】

【目的】 ポイントティングデバイスに関し、キー入力装置に組み込むことができ、その中の可動体が簡単且つ確実に適切な姿勢で保持されるようにすることを目的とする。

【構成】 キートップ12と検出用磁石14とを含む可動体と、該可動体を旋回可能に支持するための球面支持部22aを有する支持部材22と、該検出用磁石の磁力を検出する磁気検出手段26と、該磁気検出手段を吸引する磁極配置で該球面支持部と整列した位置に固定された固定磁石28とからなる構成とする。

第1実施例を示す図



12…キートップ
14…検出用磁石
22…支持部材
26…ホールセンサ
28…固定磁石

【特許請求の範囲】

【請求項1】 キートップ(12)と検出用磁石(14)とを含む可動体と、該可動体を旋回可能に支持するための球面支持部(22a)を有する支持部材(22)と、該検出用磁石の磁力を検出する磁気検出手段(26)と、該磁気検出手段を吸引する磁極配置で該球面支持部と整列した位置に固定された固定磁石(28)とからなることを特徴とするポインティングデバイス。

【請求項2】 該球面状支持部材及び該磁気検出手段はプリント基板の一方の側に固定され、該固定磁石は実質的に該プリント基板の他方の側に固定されることを特徴とする請求項1に記載のポインティングデバイス。

【請求項3】 該固定磁石は少なくともその一部が該プリント基板に設けた穴に挿入されることを特徴とする請求項2に記載のポインティングデバイス。

【請求項4】 スプリングがキートップと該プリント基板あるいは該プリント基板に固定された部材との間に配置されることを特徴とする請求項2に記載のポインティングデバイス。

【請求項5】 該支持部材と該固定磁石とが直接的に係合する位置出し手段を含むことを特徴とする請求項1に記載のポインティングデバイス。

【請求項6】 該検出用磁石及び該固定磁石の少なくとも一方側に磁気シールド板を設けたことを特徴とする請求項1に記載のポインティングデバイス。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は例えばキー入力装置に組み込むことのできるポインティングデバイスに関する。

【0002】

【従来の技術】 各種情報機器や、メカトロ機器の入力装置として、キー入力装置が普及している。キー入力装置はスクリーンのカーソルを移動させるための上下及び左右の移動キーを含んでいる。さらに、キー入力装置にはマウス等のポインティングデバイスを接続でき、より操作性を向上させることができるようにになっている。しかし、マウス等のポインティングデバイスは外部接続機器であるので、マウス等のポインティングデバイスを別に収納しなければならず、また、操作スペースが必要であるので、スペースの制約のあるところでは使用しにくいことがある。

【0003】 そこで、キー入力装置に直接に組み込むことのできるポインティングデバイスが求められる。このようなポインティングデバイスとして、本願の発明者は図6に示すようなものを使用している。図6において、ポインティングデバイス50は、キートップ52と検出用磁石54とを含み、これらの部材は一体的にホルダ56に取りつけられている。ポインティングデバイス50のハウジング58はキー入力装置の筐体の一部となるプリント基板60に取りつけられ、ハウジング58の中心

部には球面支持部62aを有する支持部材62が配置されている。ホルダ56の対応する凹部が球面支持部62aに係合し、よってキートップ52と検出用磁石54は球面支持部62aを中心として旋回可能である。

【0004】 スプリング64がハウジング58とホルダ56との間に配置される。このスプリング64は引っ張りスプリングであり、キートップ52と検出用磁石54とを支持したホルダ56を旋回可能にハウジング58に対して拘束する。さらに、検出用磁石54の磁力を検出する磁気検出手段として、ホールセンサ66が設けられる。ホールセンサ66は検出用磁石54が倒れる方向の磁力の変化を検出し、よって検出出力が図示しない制御装置に送られてキートップ52の操作方向を検出す。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 上記したポインティングデバイス50においては、スプリング64が次のような複数の作用を達成しなければならない。すなわち、スプリング64は、ホルダ56及びその組立体をしっかりと保持し、ホルダ56がハウジング58に対してまっすぐに位置するようにし、キートップ52を操作したらすぐにまっすぐに位置に復元するようにし、そしてキートップ52を操作するときに手頃の操作感触が得られるようにならなければならない。このため、スプリング64の精度管理がかなり困難となるという問題点があった。

【0006】 本発明の目的は、キー入力装置に組み込むことができ、その中の可動体が簡単且つ確実に適切な姿勢で保持されるようにしたポインティングデバイスを提供することである。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明によるポインティングデバイスは、キートップ12と検出用磁石14とを含む可動体と、該可動体を旋回可能に支持するための球面支持部22aを有する支持部材22と、該検出用磁石の磁力を検出する磁気検出手段26と、該磁気検出手段を吸引する磁極配置で該球面支持部と整列した位置に固定された固定磁石28とからなることを特徴とするものである。

【0008】

【作用】 上記構成においては、検出用磁石が移動可能に設けられ、磁気検出手段が検出用磁石の磁力を検出することにより、キートップの操作方向を読み取る。固定磁石はこのような検出用磁石に対して互いに吸引する磁極配置で配置され、この吸引力が、キートップと検出用磁石とを含む可動体を球面支持部に吸引保持するとともに、キートップが操作された場合にキートップを元の位置に戻すように作用する。

【0009】

【実施例】 図1は本発明の第1実施例のポインティングデバイス10を示す断面図である。ポインティングデバイス10は、キートップ12と検出用磁石14とを含

み、これらの部材は一体的にホルダ16に取りつけられている。キートップ12と、検出用磁石14と、ホルダ16とは一体的な可動体となる。

【0010】ポインティングデバイス10のハウジング18はキー入力装置の筐体の一部となるプリント基板20に取りつけられる。ハウジング18の内面側の爪18aがプリント基板20の穴に弾性的に嵌めこまれる。ハウジング18の外周面は旋回するキートップ12の脚部と接触するしないかというような球面の一部として形成される。

【0011】球面支持部22aを有する支持部材22がプリント基板20のハウジング18の中心に相当する位置に取りつけられている。ホルダ16の対応する凹部が球面支持部22aに係合し、よってキートップ12と検出用磁石14を含む可動体は球面支持部22aを中心として旋回可能である。検出用磁石14の磁力を検出する磁気検出手段として、ホールセンサ26がハウジング18内で支持部材22のまわりに配置され、プリント基板20に取りつけられる。プリント基板20はホールセンサ26に接続される導体パターン(図示せず)を有する。従って、ホールセンサ26は検出用磁石14の磁力を検出することにより、図示しない制御装置でキートップ12の操作方向を読み取ることができる。

【0012】さらに、固定磁石28がホールセンサ26を挟んで検出用磁石14の反対側で球面支持部22aと整列した位置に固定される。図1においては、固定磁石28はプリント基板20の裏面に接着される。

【0013】図2に示されるように、固定磁石28は検出用磁石14に対して互いに吸引する磁極(S、N)配置で配置される。この吸引力が、キートップ12と検出用磁石14とを含む可動体を球面支持部22aに吸引保持する。また、固定磁石28と検出用磁石14とは同軸線上に配置されているので、この磁石の吸引力は、固定磁石28及び検出用磁石14の軸線を中心とする磁界が矢印で示されるように形成され、よって(検出用磁石14が図2に破線で示されるように)キートップ12が操作された場合にキートップ14を元の位置に戻すように作用する。

【0014】図3は本発明の第2実施例のポインティングデバイス10を示す断面図である。ポインティングデバイス10は、前記第1実施例と同様に、キートップ12と、検出用磁石14と、ホルダ16と、プリント基板20に取りつけられるハウジング18と、ホルダ16に係合する球面支持部22aを有する支持部材22と、ホールセンサ26と、固定磁石28とからなる。

【0015】この実施例では、固定磁石28はプリント基板20に設けた穴20aに挿入され、プリント基板20に接着される。この場合にも、固定磁石28は検出用磁石14を吸引する磁極配置で球面支持部22aと整列した位置に固定される。従って、この場合にも、この吸

引力が、キートップ12と検出用磁石14とを含む可動体を球面支持部22aに吸引保持し、そして、キートップ12が操作された場合にキートップ14を元の位置に戻すように作用する。この実施例では、固定磁石28は検出用磁石14との間の距離を小さくできるので、吸引力が大きくなり、また固定磁石28をポインティングデバイス10の中心に位置させるのにも有効である。

【0016】図4は本発明の第3実施例のポインティングデバイス10を示す断面図である。ポインティングデバイス10は、前記第1実施例と同様に、キートップ12と、検出用磁石14と、ホルダ16と、プリント基板20に取りつけられるハウジング18と、ホルダ16に係合する球面支持部22aを有する支持部材22と、ホールセンサ26と、固定磁石28とからなる。固定磁石28は図1の実施例と同様にプリント基板20裏面に接着される。

【0017】この実施例では、スプリング30がキートップ12とハウジング18との間に配置されている。ハウジング18はプリント基板20に固定された部材である。あるいは、スプリング30はキートップ12とプリント基板20との間に配置されることもできる。本発明では、キートップ12と検出用磁石14とホルダ16とからなる可動体は固定磁石28により吸引保持されているので、スプリング30はこの可動体を保持する作用を果たさなくともよく、よってスプリング30は圧縮スプリングでもよい。このスプリングは、キートップ52を操作するときに手頃の操作感触が得られるように補助的に作用するものである。

【0018】さらに、磁気シールド板32が固定磁石28を覆って設けられる。同様の磁気シールド板32を検出用磁石14側に設けることができる。この場合にも、キートップ12の内面に磁気シールドを設けるのが好ましい。このように、磁気シールド板32を設けることにより、磁気がポインティングデバイス10及びキー入力装置の内外に洩れるのを防止する。

【0019】図5は本発明の第4実施例のポインティングデバイス10を示す断面図である。ポインティングデバイス10は、前記第1実施例と同様に、キートップ12(図示略)と、検出用磁石14と、ホルダ16と、プリント基板20に取りつけられるハウジング18と、ホルダ16に係合する球面支持部22aを有する支持部材22と、ホールセンサ26と、固定磁石28とからなる。

【0020】この実施例では、固定磁石28はプリント基板20の裏面に接着され、中心部に穴28aを有する。支持部材22は下方突起22bを有し、この下方突起22bはプリント基板20に設けた穴を通って固定磁石28の穴28aに嵌合する。このようにして、支持部材22と固定磁石28とが直接的に係合して同軸線上で位置出しがされることになる。

【0021】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、構造が簡単な、組立易い、より安価な組立型ポインティングデバイスを得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例のポインティングデバイスを示す断面図である。

【図2】図1の検出用磁石と固定磁石の関係を示す図である。

【図3】本発明の第2実施例のポインティングデバイスを示す断面図である。

【図4】本発明の第3実施例のポインティングデバイスを示す断面図である。

【図5】本発明の第4実施例のポインティングデバイスを示す断面図である。

【図6】従来技術を示す図である。

【符号の説明】

12…キートップ

14…検出用磁石

16…ホルダ

18…ハウジング

20…プリント基板

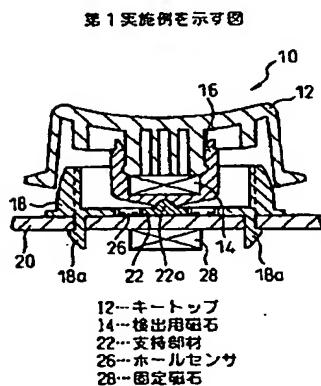
22…支持部材

22a…球面支持部

26…ホールセンサ

28…固定磁石

【図1】



第1実施例を示す図

12…キートップ
14…検出用磁石
22…支持部材
26…ホールセンサ
28…固定磁石

【図2】

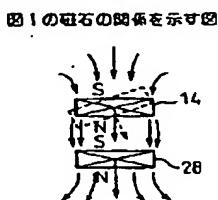
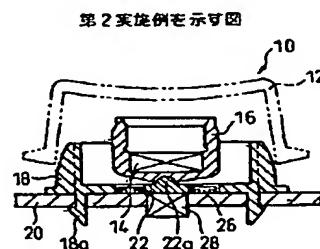


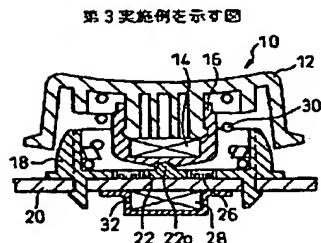
図1の磁石の関係を示す図

【図3】

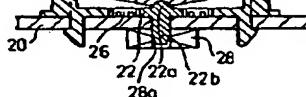


第2実施例を示す図

【図4】

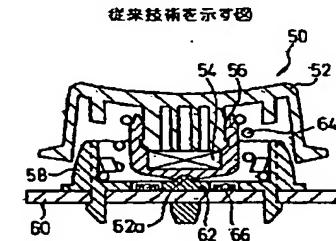


第3実施例を示す図



第4実施例を示す図

【図5】



従来技術を示す図